平昌「メダル目標」

GK 藤本　那菜（ボルテ）
近藤　真衣（御影）
DF 小西あかね（西　武）
小池　詩織（道路建設）
床　亜矢可（西　武）
鈴木　世奈（西　武）
堀　珠花（トヨタ）
細山田　茜（道路建設）
竹内　愛奈（ダイシン）
志賀　葵（帯　広）
FW 米山　知奈（道路建設）
足立友里恵（西　武）
大沢　ちほ（道路建設）
藤本もえこ（トヨタ）
床　秦留可（西　武）
浮田　留衣（ダイシン）
寺島　奈穂（ダイシン）
高　涼風（道路建設）
獅子内美帆（トヨタ）
久保　英恵（西　武）
岩原　知美（西　武）
中村　亜実（西　武）
小野　粧子（御影）
※御影はフルタイムシステム御影グレッズ、帯広はレディース、ボルテはボルテックス札幌、トヨタはトヨタシグナス

平昌五輪の女子アイスホッケー日本代表に選ばれた小野粧子（2列目右から3人目）、志賀葵（同右端）、近藤真衣（3列目左から2人目）らスマイルジャパンの選手たち（前列右から4人目が大沢ちほ主将。3列目左端が山中武司監督）

スマイルジャパン　守り重視で選出

【東京】平昌冬季五輪の女子アイスホッケー日本代表（スマイルジャパン）メンバーに選出されたフルタイムシステム御影グレッズのFW小野粧子（36）とGK近藤真衣（25）、帯広レディースのDF志賀葵（18）の十勝の3選手は、全員が初出場だ。

チーム最年長の小野は五輪への4度目の挑戦で、ようやく代表切符を手にし、近藤と最年少の志賀は初のチャレンジで五輪代表に。それぞれの思いを胸に、大舞台に向けさらなる成長を誓った。（北雅貴、金野和彦）

ソチの悔しさ忘れず

1998年長野五輪、2014年ソチ五輪と過去2大会で1勝もできなかった。しかし平昌での目標は五輪初勝利ではない。山中武司監督と大沢ちほ主将ら選手は「メダル獲得」という大きな目標を掲げた。

日本の世界ランキングは9位。1次リーグを突破するには、最終戦で22位の韓国と当たる前に5位スウェーデン、6位スイスのどちらかを破り、2位以内に入らなければならない。

山中監督は「5、6点を取れるホッケーは望んでいない。堅い守りを生かして確実に点を取る」とロースコアの戦いに勝機を見いだす。昨夏に就任以来、基礎体力を高め走り負けないチームをつくってきた。その中でも「守りの計算できる選手」を選んだと説明した。

2大会連続出場は23人中15人で、大沢主将は「ソチの悔しさを忘れずに、切磋琢磨（せっさたくま）してきた」。高い壁を乗り越えて、「スマイルジャパン」の愛称の通りに笑って終われる結果を迎えるための挑戦が始まる。

志賀葵、高校生で唯一

現役高校生でただ一人選出された志賀葵（11月・日本代表合宿）

妹落選「4年後に」

帯三条高3年の志賀葵は、メンバーで唯一の現役高校生だ。2年前に初のフル代表入り。雲の上の存在だった周囲に圧倒され、「前に出るタイプでない」性格も相まってプレーが控えめだった。現在は得点につながるFWへのパスセンスの持ち味を発揮しつつある。山中武司監督からは「ステックワークも非常に上手」と評価され、自分からパックを呼び込む積極性を求められている。

代表候補の最終合宿までは妹の紅音（16）＝帯三条高2年＝も一緒だった。今回は姉妹での代表とはならなかったが、4年前に同じことが起こった床亜矢可（23）＝西武＝、秦留可（20）＝同＝姉妹は今回、そろって代表入り。葵は「妹と4年後に床さんのようになろうと誓い合った。『頑張ってきてね』とも言われた。失敗を恐れず、全力でやればチームのためになるはず」と力を込めた。

小野、4度目で悲願

最年長36歳「皆の気持ち背負う」

「ホッケー人生で今が一番充実」と最年長を感じさせないプレーを見せる小野粧子（2月・五輪最終予選）

「安堵（あんど）した。やっと落ち着いて五輪に向かえる」。小野粧子は晴れやかな表情だった。

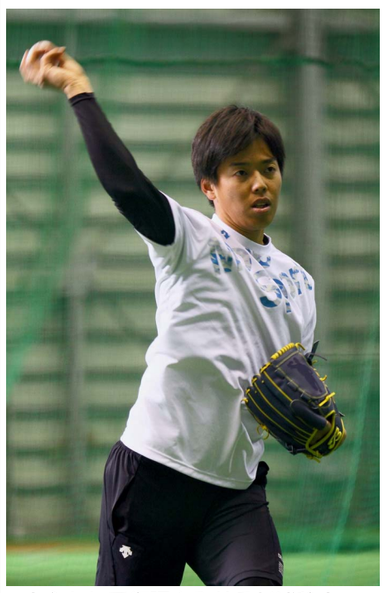
旭川市出身。立命館慶祥高（江別）2年時の1998年、長野五輪の代表候補に選ばれたが、最後はメンバー外に。卒業後はコクドレディース（現西武）でプレーし、日本代表としてもソルトレークシティー、トリノ、バンクーバー五輪の予選を戦ったが、本大会とは縁がなかった。元アイスホッケー日本リーグの選手で、フルタイムシステム御影グレッズのコーチを務めていた豊さんとの結婚を機に、一線を退き清水町に移り住んだ。

代表に未練はなかったはずだった。2014年のソチ五輪で、長年チームメートとして苦楽を共にした久保英恵（35）＝西武＝らが躍動する姿を見て感動。代表の愛称通り「笑顔でホッケーして楽しそう。このチームの一員になりたい」と眠っていた闘志に火が付いた。「以前よりパワーアップしたし、走るのも速くなっていた」と、15年に代表復帰を果たした。

今年2月の平昌五輪最終予選の最終戦で得点するなど活躍。4月上旬の世界選手権で調子を落とし、6月までは不振を引きずった。両肩のけがにも苦しみ、「ホッケー人生で一番つらかった。やめてもいいんじゃないかとも」とどん底を味わった。「疲れているのにやらなきゃという意識が強過ぎた」と振り返る。体力が落ちる不安を押し殺し、体を休める時間を思い切って増やした。決断が奏功し、調子を戻して代表候補合宿で健在をアピールした。

苫小牧での合宿最終日の11月22日に代表入りが言い渡され、豊さんや札幌在住の両親に報告。グレッズの選手にも伝えた。周囲から祝福された小野は「皆の気持ちを背負って頑張ろうと改めて思った。一つでも成長して、チームにいかに貢献できるかを考えたい」と力を込めた。

ハム杉浦「右肩の回復順調」


自主トレで復調をみせる杉浦稔大

先月下旬からブルペン

【千葉】北海道日本ハムファイターズの杉浦稔大投手（25）＝国学院大、帯大谷高出＝が、右肩の故障から順調な回復を見せている。千葉県鎌ケ谷市のファイターズ鎌ケ谷スタジアムで6日、自主トレを行い、「いい感じできている。違和感もなく、今のところ順調に進んでいる」と話した。

11月下旬から今月5日にかけて、既にブルペンに5回入り、立ち投げができるまでに復調。今後、捕手を座らせてより実戦的な投球練習を開始する。室内練習場では約40㍍の遠投を繰り返し、体をつくっている。来年2月のキャンプインまでに「試合で投げられるように持っていきたい」と語った。

実戦は、移籍前のヤクルトに所属していた4月26日の中日戦が最後。7月に日本ハムに移籍後、登板機会がなく、シーズンが終了した。9月には第1子の長女も誕生し、「責任感が増えたが、逆に励みにもなっている」と家族の希望も詰まった右肩を仕上げていく。（有岡志信）

近藤「勝負これから」

控え脱却目指す

第3GKの座を返上しレギュラー入りを狙う近藤真衣（11月・日本代表合宿）

「ここ（平昌五輪）を目指してやってきたので、率直にうれしい」と喜びながらも、気を引き締め直した。

ソチ五輪をテレビで見ていた3年前とは状況が全く違う。五輪後の2014年6月に初めてフル代表入り。「自分はどれだけできるか楽しさしかなかった」。代表に定着した今は、落選している場合ではないとのプレッシャーを感じつつレギュラーを狙う。

GK3人中、本番でのベンチ入りは2人。初代表からこれまで大きな大会では第3GKの座から脱却できていない。壁が高いのは本人が一番よく理解している。「GK（での出場）が確約されているわけではない。ほっとしたよりも、私の中では戦いはまだまだ続く。限られたチャンスを生かしたい」と意気込んだ。

勝毎杯アイスホッケーBブール

（6日・帯広の森アイスアリーナ）

◇2部A
ザ・トーチャンズ 9（5－0、3－2、1－2）4 OSKI

▽得点者【ザ】松岡3、角玄2、多田2、遠藤、小部【O】大久津、大石、森田、八重柏
▽アシスト【ザ】松岡2、小部2、角玄、遠藤、菊子、青木、関【O】鳥倉、福原、大久津、八重柏
▽反則【ザ】2【O】0
▽シュート数【ザ】44【O】25

◇2部B
帯広しんきんファイターズ 4（2－1、1－2、1－0）3 浦幌町役場

▽得点者【帯】石井、熊谷、中島、梶【浦】松田、跡治、山口
▽アシスト【帯】八角、後藤【浦】阿部2、野口、跡治
▽反則【帯】0【浦】1
▽シュート数【帯】38【浦】12

◇4部A
パラサイト 6（1－0、3－0、2－0）0 アルバトロス

▽得点者【パ】岸上2、密石、木内、塩田、吉田
▽アシスト【パ】島2、吉田、堤、密石、塩田、山田
▽反則【パ】1【ア】0
▽シュート数【パ】37【ア】20

◇4部B
市役所Z 13（4－0、5－4、4－1）5 教員倶楽部Ⅱ

▽得点者【市】後藤優3、真壁3、三好3、吉田2、甲山佳、山崎【教】井上、宮崎、神本、児玉、木柳
▽アシスト【市】甲山孝3、神垣2、真壁2、後藤優2、三好、吉田、甲山佳【教】井上2、吉田、木柳、林、宮崎
▽反則【市】0【教】0
▽シュート数【市】50【教】16

きょうの勝因

2部A　ザ・トーチャンズ・FW遠藤充紀（34）
澤さん、やりましたよー！皆で攻めて守ってハッスルプレー！　全勝優勝も見えてきた？　笑

2部B　帯広しんきんファイターズ・DF前田泰裕（28）
田村まさひろ（清水支店）の幻のゴールで勝つことができました。遠藤さん（総務部）第2子おめでとうございます。

4部A　パラサイト・FW樋口奈々枝（26）
シーズンが始まり、チームがまとまってきたことと、キーパーのセーブが輝いていたことだと思います。

4部B　市役所Z・FW三好宏行（55）
人生初のハットでした。おめでとう自分。みんなのナイスパスのおかげです。次回も勝ちましょう。

かちまいスポーツ
記録の速報は▼kachimai.mobi
写真がほしい▼0120-25-9410